

正確な診断 / シミュレーションに持ちづいた ガイドサージェリー

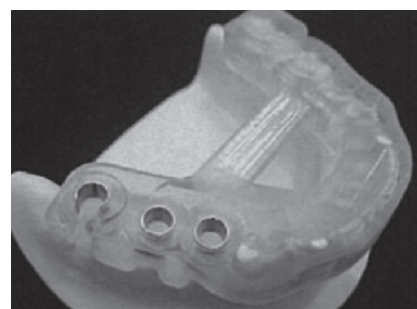
十河 基文

株式会社アイキャット



今回の第6回 SAFE 学術大会のテーマの副テーマが「CT で検証する」。しかし CT 診断 / シミュレーションをただだけでは解決に結びつかない。まさにその後の手術をできるだけ診断 / シミュレーション通りにすべきである。その時に有効なのがガイドサージェリー。

私は現在、継続的な臨床を行っていないが、インプラントシミュレーションソフトやガイドサージェリー、さらにはそれらの精度や画質を勉強する中、CT 装置の「再構成」といったことに深く携わってきた。今回は少しし教科書的にはなるが、「CT 撮影の注意点」「インプラントシミュレーションのポイント」そして「ガイドサージェリーの落とし穴」などをお話したい。



略 歴

1988年 1988年 大阪大学歯学部 卒業
 1988年 大阪大学歯学部第二補綴学教室 (1988 ~ 1997年)
 〃 口腔総合診療部 (1997 ~ 2006年)
 2003年 大学発ベンチャー株式会社 iCAT 創業
 2006年 大阪大学歯学部退職、招聘教員
 株式会社アイキャット代表取締役 CTO
 2018年 大阪大学歯学研究科
 イノベティブデンティストリー戦略室 教授

現在の役職及び所属学会 等

- ・日本口腔インプラント学会
- ・AO
- ・EAO
- ・日本歯科補綴学会
- ・CT 適塾塾長
- ・学生講義 (CT / シミュレーション) : 阪大、長大、徳大、朝日大、
奥羽大、神奈川歯科大、鹿児島大

memo